

整備局企画部防災課より

伊勢湾台風50年を目前に

洪水＋地震＋高潮を想定した複合訓練を行います。

三重県では、昭和 19 年にM8.0 の地震が発生、死者・行方不明者 1,223 名の大災害を受けた歴史があります。また、昭和 34 年の伊勢湾台風からまもなく50年が経過しようとしています。

このため中部地方整備局では、愛知県、岐阜県、三重県、桑名市、木曾岬町との共催によりゼロメートル地帯を抱える木曾三川地区

において、洪水＋地震＋高潮の3つの災害事象に対応した複合訓練を行います。

今回の訓練は、水防技術の研鑽や水防意識の向上を図ることを目的とした「水防演習」を主体とし、避難訓練や人命救助・応急復旧・施設点検等を行います。

公共土木施設の迅速な災害情報収集を目的とした訓練として防災エキスパートも参加いただき、洪水災害に対して堤防点検等の河川巡視や中部地方整備局への情報伝達訓練を行います。

また、自治体支援を目的に、平成 20 年度に創設する「緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）」の活動を想定し、人員・資機材の派遣訓練を行います。

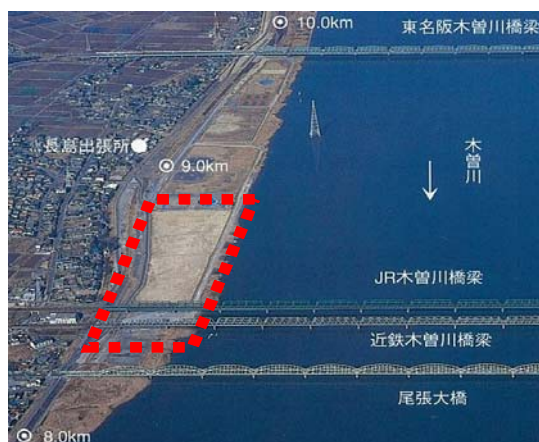
みなさんのご参加、ご来場をお待ちしています。

◆日時／平成 20 年 5 月 25 日（日）8:30～12:30

◆場所／主会場：長島運動公園（桑名市長島町）

港会場：四日市港

◆問合せ先／河川部河川管理課 TEL052-953-8155



訓練会場（桑名市長島町押付地先）

<昨年静岡で行われた複合訓練の様子（平成 19 年 5 月 27 日）>



エキスパート写真

左：杉本徳治 右：山田耕一郎



小学生による土のう袋の作成

防災エキスパート活動報告

平成19年9月上旬から平成20年3月末までに行われた防災エキスパートの活動をご報告いたします。

◎ 中部地方整備局主催の防災訓練への参加

9月3日(月)に中部地方整備局の防災訓練が実施され、54名の方が自発的モニター活動や出動依頼による活動等に参加されました。

【活動の詳細について】

- 自発的モニター活動(6事務所) : 13名
- 出動依頼による活動(16事務所) : 36名
- 30分モニター活動(企画部防災課) : 5名

()内は、訓練における出動依頼元とする。



静岡国道事務所(机上訓練)

中央: 藺田 充 右: 川井三雄

◎ 防災セミナーの開催

防災とボランティア週間にちなみ、1月18日(金)に事務局の主催により防災セミナー(共催: 中部地方整備局・静岡県、後援: 静岡市)を開催し、150名(うち防災エキスパート77名)の方に参加していただきました。

【講演について】

- 演題: 「富士山の自然災害と対策」 講師: 中部地方整備局富士砂防事務所 所長 石井 靖雄 氏
- 演題: 「東海地震の最近の状況とその対応」 講師: 静岡県地震防災センター 所長 小澤 邦雄 氏



会場(静岡県地震防災センター)



石井 靖雄 様



小澤 邦雄 様

◎ 中部地方防災エキスパート世話役会議の開催

2月27日(水)に(社)中部建設協会大会議室にて世話役会議を行いました。事務局から平成19年度中部地方防災エキスパート活動報告や平成20年度中部地方防災エキスパート活動計画を報告し、整備局からは緊急災害対策派遣隊や平成20年度に行われる木曾三川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練(案)の内容について説明していただきました。



防災エキスパートの皆さまへ ～ 30分モニター募集のお知らせ ～

30分モニターとは、震度6弱以上の地震を観測した場合、発生直後30分以内に身の回りの被災状況を予め県毎に指定された整備局担当者へ報告していただきます。

30分モニターを随時募集しております。登録される方は、事務局までお問い合わせください。